



企業の飛躍と可能性

令和6年8月17日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

技術とシステムの進歩は新しい機能性の向上を製品とサービスにおいて有する。これらは新しい世界の創造であり、その未知という可能性なのである。これらが自由経済システムにおける一つの真実なのである。

これらは企業の全ての分野における改善は今日の、MBA システムと新しい生産システム、IT システムにおいて飛躍的な向上を企業に与えることができるのである。

これらはグローバル経済における新しい現実とスタンダードが存在することであり、これらを否定して企業の経済は今日不可能である。

これら飛躍は機能性の追求というアメリカンスタイルが今日、効率性や生産性などにおける飛躍を新規システムや現実とともに有することを理解すべきである。

IT 革命という現実は新たな企業現実を有するのである。これらは IT 産業に限定されるものでなく、それらシステムが企業経営を根本的に変化させているのである。

これらはスティーブジョブズやジャックウェルチが与えた企業革命は、その新しい創造性であり、製品と企業システムにおける飛躍なのである。

これらは留意して企業効率性の向上を求めるとき、現在における多様なシステムや製品は、企業の飛躍を可能とできるのである。

また生産における新しいシステムの構築などにおいて、新規生産性や効率性基準における企業経営の転換は明らかに大幅な改善を実現できるのである。

これらは企業経営における理解と判断が新しい可能性を企業に与えることができることを意味するものである。

これらは社員意識と理解が未来を増槽することとともに、挑戦という企業の新しい未来を提案するものである。



KURODA International
Create the future